

天 然 記 念 物 っ て 、 な に ？

N a t u r a l M o n u m e n t s o f J a p a n



文化庁記念物課

Monuments and Sites Division, Agency for Cultural Affairs

天然記念物とは？

長い間、私たちは、自然と深いかかわりをもって暮らしてきました。
地域にあるさまざまな自然は、私たちの貴重な財産です。

天然記念物は、学術上貴重でわが国の自然を記念するものとして指定された動物、植物、地質・鉱物、そしてそれらに富む天然保護区域です。これらのいずれもが文化財のひとつで、私たちの宝物です。

まもる Conservation

ヨーロッパで生まれた天然記念物の考え方が日本に導入されたのは明治時代。世界的にみても早い段階で、自然保護の考え方が導入されたといえます。天然記念物の保護は、まず、全国の天然記念物の調査から始まりました。天然記念物に指定されると、捕獲や開発などに対する規制が行われ、保存のための日常的な管理が行われます。また、減少や衰退がみられるものについては、回復のための対策もとられています。さらに、カモシカなどによる食害の対策も行われています。

指定のための分布・実態調査、減少や衰退などの原因調査が行われています。

調査



大正5年、三好学博士によるサクラソウ自生地の調査
天然記念物の保存は1906(明39)年に三好学博士が
名木の保存を訴える論文を書いたことから始まった。
1919(大8)年に法律が施行され、その翌年にサクラ
ソウ自生地を含む9件が指定された。(深井亨二)

天然記念物調査報告書植物部第一輯



カモシカ調査



調査報告書

行為規制

天然記念物を捕獲や採集したり、工事などを行う場合には、許可が必要です。工事などに際しては、天然記念物の保存に配慮された計画や工法が求められます。



山口ゲンジボタル発生地(山口県)
河川改修には、ホタル護岸や素堀りの河床な
どホタル保護に配慮した工法がとられている。

保護増殖

天然記念物の保存のために、生育・生息環境を整備しています。数が減少、衰退した場合には、動物の保護増殖、巨樹の樹勢回復などの事業が行われています。



蒲生のクス(鹿児島県)

巨樹は長い年月を生き抜いてきて痛んでいることが多く、樹勢の回復のため腐朽部の処理や土壌改良が行われる。写真は日本一の巨樹で、樹勢の回復作業に4年を要した。(蒲生町教育委員会)



コウノトリ(地域定めず)

野生個体がいなくなったコウノトリは、兵庫県豊岡市にある2ヶ所の施設で増殖が図られ、野生復帰を目指している。

天然記念物を保存するために、清掃、パトロールなどの日常的な管理、看板等による普及啓発が行われています。

管理

御前崎のウミガメおよびその産卵地(静岡県)
地方自治体や地域のボランティアの人々は、パトロールなど日常の管理を行って保護に努めている。



駒止湿原(福島県)に設置された遊歩道(田島町教育委員会)



歌津館崎の魚化石産地(宮城県)保護の亚克力板(南三陸町教育委員会)

歴史の証人 Witness of Natural History

「列島のルーツをあらわす自然」、すなわち、日本列島の成り立ちを示す地質現象や、過去の生物の姿を知ることのできる化石、日本列島の生物地理学的な特性を示す固有種などの動植物などで、私たちの日本列島がたどってきた歴史、自然の「時間軸」がみえます。



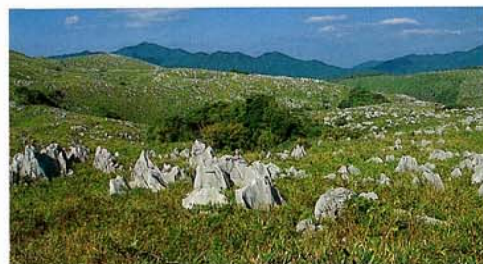
薬師岳の園谷群(富山県)

薬師岳の山稜には、プリンをスプーンでえぐったような凹み、カール(園谷)がある。この付近では、氷河が溶けたとき氷河が運んできた礫等が堆積したモレーンも観察できる。(高井誠)



東尋坊(福井県)

断崖をつくる柱状の岩は、今から1,200万年ほど前に安山岩の溶岩が冷えて固まる際、体積が減少してできた柱状節理(割れ目)。高さ25mほど、直径70cmから1m。(坂井市商工観光課)



秋吉台(山口県)

わが国最大のカルスト台地。この石灰岩は、3億5,000万年前に赤道付近でできた海山の上に形成されたサンゴ礁が、海洋プレートにより運ばれ、2億年ほど前に当時の中国大陸東縁に衝突したものだといわれる。(秋芳町)



今の日本海側の部分だけが、アジア大陸の東の縁にある。日本列島ができるのはまだずっと先のことだ。



野島断層(兵庫県)

1995年1月17日未明に発生した阪神淡路大地震の震源となった活断層。淡路島の北淡町に現れた断層は、今も活動が続ける大地の営みを示している。(淡路市教育委員会)



約1万8000年前

最終氷期のピーク。海面は現在より100m以上低く、大陸と陸続きになった。日本海は、湖になっていたかもしれない。



約1450万年前

日本海の拡大がほぼ終わり、日本列島の原型がつくられた。東北日本の大部分は、海の底だった。琉球弧は、まだ大陸の一部だ。



現在

四周を海に囲まれた日本列島は、千島・本州・伊豆・小笠原・琉球の4つの弧状列島から成立する。そこにはユニークで多様な動植物相と文化が展開する。



早池峰山および薬師岳の高山帯・森林植物群落(岩手県)

超塩基性岩に固有な貴重種を含んだ高山植物の代表的な生育地。早池峰山だけに咲くハヤチネウスユキソウ、ナンブイヌナズナなど、ここを南限とする種に富んでいる。(花巻市教育委員会)



イリオモテヤマネコ(地域定めず)

1967年になって西表島で発見された小型の野生ネコで、わが国の固有種。琉球列島の成立を知る上で重要なこのネコも、現在、わずか100頭あまりしか生息していない。(村田行)



エゾミカサリウ化石(北海道)

中生代白亜紀後期(約8,500万年前)の大型肉食ハ虫類の頭骨の化石。長さ33cm、重さ22kgで歯の長さは5cmもある。(三笠市教育委員会)

日本の自然誌

Typical Fauna,
Flora and Geological Phenomena

「文化の背景となった自然」、すなわち、亜熱帯のマングローブから亜寒帯の針葉樹林。地域文化形成の舞台ともなった自然の特性を理解する上で欠かせない多様な自然の姿で、私たちの暮らす日本列島の地理的広がりや気候、自然の「水平軸」がみえます。

オオサンショウウオ(地域定めず)
世界最大級の両生類で、大きなものになると体長は1mをこす。(橋本武良)



黒部峡谷 附 猿飛ならびに奥鐘山
(富山県)
黒部峡谷は、花崗岩質の岩石が浸食されてできた深い峡谷で、動植物相も豊富。

カモシカ(地域定めず)
九州、四国、本州中部以北にすむ日本固有のウシ科の動物。(小笠原廣)



昭和新山(北海道)
昭和新山は1943年に誕生し、その様子は三松正夫氏により克明に記録された。(三松正夫記念館)

竜良山原始林(長崎県)
日本の暖温帯域にある代表的な常緑広葉樹の原始林。



鳥取砂丘(鳥取県)
東西16km、南北2kmにわたる日本海側の代表的な砂丘。(鳥取県観光振興会)

ヤンバルテナガコガネ(地域定めず)
沖縄の山原で1983年に発見されたわが国で最大の甲虫。(千木良男)



鹿児島県のツルおよびその渡来地
(鹿児島県)
出水平野には、毎年10月にツル、マナヅルなどが約1万羽渡来する。



小堤西池のカキツバタ群落(愛知県)
この群落はもっとも規模の大きいもので、花の変異も変化に富んでいる。



仲間川天然保護区域(沖縄県)
西表島が亜熱帯性であることを示すヤエヤマヒルギやオヒルギのマングローブ林。



地図製作:マカベアキオ



田島ヶ原サクラソウ自生地(埼玉県)
田島ヶ原のサクラソウは群落が大きく、花の色や形態が変化に富んでいる。



ミヤコタナゴ(地域定めず)
関東地方にだけ分布する日本固有の純淡水魚。(清川町教育委員会)



オガサワライトンボ(地域定めず)
一度も大陸とつながったことがない海洋島である小笠原に固有のイトトンボ。(荒部治紀)



エオシマフクロウ(地域定めず)
北海道の亜寒帯林にすむ全長が約70cmにもなる日本最大のフクロウ。(山本純郎)



釧路湿原(北海道)
釧路市の北に広がる泥炭質の低湿地で、ヨシ・スゲ湿原となっている。(様方優一)



下北半島のサルおよびサル生息北限地
(青森県)
ニホンサルは日本固有種で、下北半島はヒト以外の霊長類がすむ最北の場所。(江川正幸)



アホウドリ(地域定めず)
翼が2.5mにもなる最大級の海鳥で、伊豆諸島の鳥島と尖閣列島で繁殖。(長谷川博)

人と自然のかかわり

Interrelationship between Men and Nature

「人がかかわり、作り上げた自然」、すなわち、巨樹、ホタルなど日本人の自然観の形成に寄与したものや、並木、家畜・家禽など人がかかわって作り上げたものなどで、私たちと自然との親密さ、自然の「文化軸」がみえます。

生きる 育む

私たちは、自然をなりわいの対象として自然とともに生き、また、自然に働きかけて新たな品種を作ったり、並木を植えたりしてきました。



アビ (井手三千男)



アビ渡来群游海面 (広島県)

アビの群遊する海面に舟を乗り出し、海面下の魚を釣り上げる伝統的漁法が広島県下の瀬戸内海で行われてきた。(井手三千男)



土佐のオナガドリ (地域定めず)

突然変異で生じた換羽しない性質を人為的に固定して、尾羽を長く伸ばすようにしたもので、ときに12mにもなる。(南国市)



日光杉並木街道 附 並木寄進碑 (栃木県)

江戸時代に植栽された代表的なスギ並木で、総延長37km、スギの本数は1万本をこす。(栃木県)



美郷のホタルおよびその発生地 (徳島県)

初夏の風物詩となっているホタルは日本人に親しまれる著名な昆虫として、その発生地10ヶ所が指定されている。(吉野川市教育委員会)



象岩 (岡山県)

高さ8mの花崗岩。波と風による浸食が進み、まるでゾウの顔のようになった。この花崗岩は今から8,500万年前の白亜紀に作られたもので、中国地方の代表的な岩石でもある。

(倉敷市教育委員会)



山高神代ザクラ (山梨県)

エドヒガンの巨樹でサクラのうちでも最大級のもの。日本武尊が手植えし、日蓮上人が樹勢の衰えを回復させたという伝説がある。

(山梨県教育委員会)



横山のウグイ生息地 (宮城県)

不動尊堂と山門の間にある池と小川にすむウグイは、土地の人に「不動様のお使い」として親しまれてきた。



大久保の大ヒノキ (宮城県)

ヒノキの中では随一の樹高をもち、平家の落人伝説のある椎葉村の大久保集落の墓地に植えられ、敬われている。

私たちは、大きな木や岩にさまざまなイメージを抱き、動物に対してもののけを見ます。また、さまざまな自然をめでて季節のうつろいを感じ、生活を豊かなものにしてきました。

親しむ 敬う

歴史の証人 日本の自然の成り立ちを知る上で欠かせない学術的価値のあるもので、「自然史」としての意義をもつものです。

日本の自然誌 日本の風土や文化を育んできた自然、すなわち、「自然誌」としての意義をもつものです。

人と自然のかかわり 日本人と自然とのかかわり方、また、心象風景を語る上で欠かせないもので、「文化史」としての意義をもつものです。

まもる 天然記念物は地域保全の原点です。天然記念物をまもることは、自然全体と、自然にまつわる文化をまもることに繋がります。

いかす 天然記念物は地域の遺産です。天然記念物の価値を明らかにして、いかすことで、人々の自然観や地域とのつながりを育むことができます。

いかす Utilization

天然記念物をまもるため、行為に規制がかけられているので、「天然記念物は触れてはならない」というイメージがもたれ、天然記念物と地域住民との距離が遠くなってしまうこともあります。天然記念物は地域の自然と文化の結びつきを知る、とてもよい教材です。そこで、天然記念物の意義を知り、理解を深めるための活動が行われています。また、天然記念物に親しみ、教材として利用する活動などが行われ、そのための施設の整備も行われています。

観る

天然記念物の観察をとおして、学習や研究ができる施設の整備を行っています。現在8カ所で整備が進んでいる天然記念物整備活用事業は、コアとなる学習施設で天然記念物についての学習ができるだけでなく、園路や観察施設を使つての野外学習もすることができます。



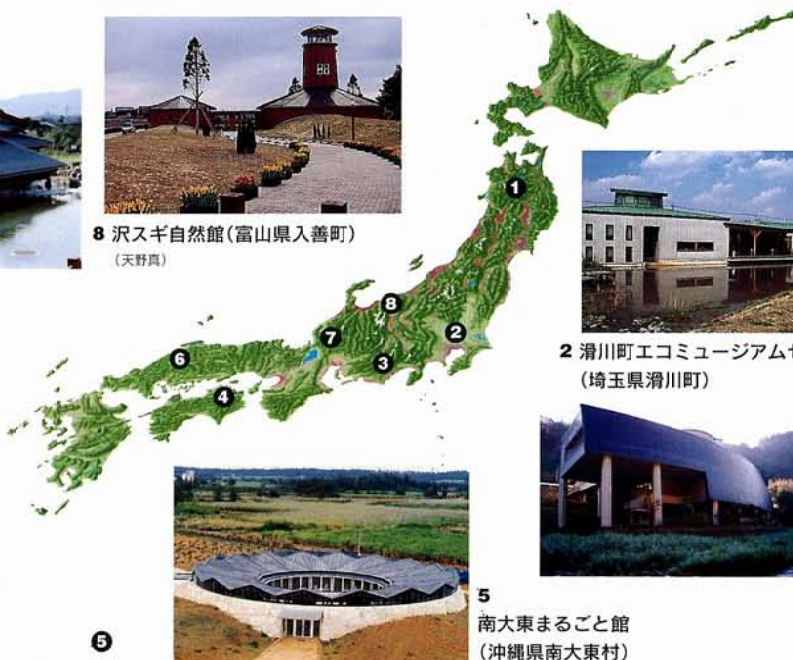
7 本願清水イトノ里
(福井県大野市)



8 沢スギ自然館(富山県入善町)
(天野真)



6 瑞穂ハンザケ自然館
(島根県邑南町)



2 滑川町エコミュージアムセンター
(埼玉県滑川町)



1 大館市立長走風穴館
(秋田県大館市)



3 カモシカと森の体験館
(静岡県浜松市) (廣崎節雄)



4 美郷ほたる館
(徳島県吉野川市)



5 南大東まるごと館
(沖縄県南大東村)

5

シンポジウムや観察会が各地で開かれたり、切手などさまざまな物の題材となったりして、天然記念物が地域の自然を知ったり、親しんだりする格好の素材となっています。

知る 親しむ

切手や
テレホンカードなど



観察会

環境学習の
教材に使われる。



シンポジウム



パンフレット類

天然記念物について

Protection of Natural Monuments

私たちの生活は自然とさまざまな意味で切り離すことができないものです。そんな自然を守るため、私たちは種々の制度をもっています。その中で、天然記念物の制度は、学術的・文化的な視点から自然を記念するもので、国宝や、民俗芸能のような無形文化財などと同じように、文化財保護法で指定された文化財のひとつです。天然記念物は、自然の中の文化財ですから、その保護には、生態系に配慮した継続的な保護活動が大切です。さらに、人材の養成、研究者との連携などのネットワークの確立も必要です。天然記念物の保護・活用は、地域の人々の関心と協力が欠かせません。人々が、その意義を理解し、天然記念物を大切にしたい気持ちをもつことができるような活動が重要です。

指定基準 天然記念物の指定基準は次のとおりです。

特別史跡名勝天然記念物及び史跡名勝天然記念物指定基準

(昭和26年5月10日、文化財保護委員会告示第二号)

天然記念物

下に掲げる動物植物及び地質鉱物のうち学術上貴重で、わが国の自然を記念するもの

1 動物

①日本特有の動物で著名なもの及びその棲息地②特有の産地ではないが、日本著名の動物としてその保存を必要とするもの及びその棲息地③自然環境における特有の動物又は動物群④日本に特有な畜養動物⑤家畜以外の動物で海外よりわが国に移殖され現時野生の状態にある著名なもの及びその棲息地⑥特に貴重な動物の標本

2 植物

①名木、巨樹、老樹、畸形木、栽培植物の原木、並木、社叢②代表的原始林、稀有の森林植物相③代表的高山植物帯、特殊岩石地植物群落④代表的な原野植物群落⑤海岸及び砂地植物群落の代表的なもの⑥泥炭形成植物の発生する地域の代表的なもの⑦洞穴に自生する植物群落⑧池泉、温泉、湖沼、河、海等の珍奇な水草類、藻類、蘚苔類、微生物等の生ずる地域⑨着生草木の著しく発生する岩石又は樹木⑩著しい植物分布の限界地⑪著しい栽培植物の自生地⑫珍奇又は絶滅に瀕した植物の自生地

3 地質鉱物

①岩石、鉱物及び化石の産出状態②地層の整合及び不整合③地層の褶曲及び衝上④生物の働きによる地質現象⑤地震断層など地塊運動に関する現象⑥洞穴⑦岩石の組織⑧温泉並びにその沈澱物⑨風化及び侵蝕に関する現象⑩硫気孔及び火山活動によるもの⑪氷雪霜の営力による現象⑫特に貴重な岩石、鉱物及び化石の標本

4 保護すべき天然記念物に富んだ代表的一定の区域(天然保護区域)

指定件数

天然記念物は、新たに指定されるもの、枯死などで指定が解除されるものなどがあり、件数は変化します。

天然記念物指定件数

分類	件数
動物	191(21)
植物	537(30)
地質・鉱物	221(20)
天然保護区域	23(4)
合計	972(75)

(): 特別天然記念物で内数

2006年3月末日現在

保護体系

天然記念物の保護・活用は、天然記念物の所有者や、所在する教育委員会が、文化庁と協力して行っています。



秋芳洞(山口県) 日本を代表する石灰岩鍾乳洞。階段状の池である「百枚皿」は特に有名。(秋芳町) 表紙の写真 ヤマネ(地域定めず) 体長6cmほどのげっ歯類で、一属一種の日本固有種。(西村豊)

デザイン：山内浩史デザイン室

文化庁文化財部記念物課

〒100-8959

東京都千代田区丸の内 2-5-1

電話(代表) 03-5253-4111

http://www.bunka.go.jp

The Protection of Natural Monuments

The national government designates animals, plants and geological features and minerals that possess a high scientific value for this country as "natural monument". Under the terms of the Law for the Protection of Cultural Properties, any alteration of the existing state of a natural monument, or any activities that will affect its preservation require authorization from the Commissioner for Cultural Affairs. The national government is required to indemnify owners and others for any loss to property rights which exceeds a specified limit that results from such restrictions. As a rule, however, it seeks to compensate owners by providing subsidies from the national treasury for the purchase of such sites by the local government. To ensure that natural monuments are widely used, the national government also provides subsidies for their upkeep and repair.